

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年2月4日 (2010.2.4)

【公開番号】特開2008-145745(P2008-145745A)
 【公開日】平成20年6月26日 (2008.6.26)
 【年通号数】公開・登録公報2008-025
 【出願番号】特願2006-333156(P2006-333156)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月10日 (2009.12.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

感光体と、

前記感光体の表面を一様に帯電する帯電手段と、

前記帯電手段によって帯電された前記感光体の表面を露光して、前記感光体の表面に静電潜像を形成する露光手段と、

前記静電潜像に対して現像剤を供給して前記静電潜像を現像する複数の現像手段と、
 を有し、

前記帯電手段、前記露光手段、前記現像手段によって、帯電、露光、現像を繰り返すことによって、前記感光体上に複数の現像剤像を重ねて現像する画像形成装置において、

前記感光体上に形成された測定用画像の表面電位を検知する表面電位検知手段と、

前記測定用画像に供給された現像剤の現像量を検知する現像量検知手段と、

前記表面電位検知手段と前記現像量検知手段による検知結果に基づいて、前記露光手段の露光条件を決定する計算手段と、

前記計算手段によって決定された露光条件に基づいて露光を制御する露光制御手段と、
 を有し、

前記感光体の表面に現像された現像済みの現像剤の上に重ねて、新たに現像剤を現像する際は、

現像済みの現像剤で形成された測定用画像と、新たに現像される現像剤で形成された測定用画像の、前記表面電位検知手段、及び前記現像量検知手段による検知結果に基づいて

、
 前記計算手段が計算することによって露光条件を決定し、

決定された露光条件に基づいて前記露光制御手段が露光を制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記計算手段は、

現像済みの現像剤で形成された測定用画像の、前記表面電位検知手段、及び前記現像量検知手段による検知結果に基づいて、現像済み現像剤の電荷密度を算出し、

新たに現像される現像剤で形成された測定用画像の、前記表面電位検知手段、及び前記現像量検知手段による検知結果に基づいて、新たに現像される現像剤の電荷密度を算出し

、
現像済み現像剤の電荷密度と、
新たに現像される現像剤の電荷密度と、
現像済み現像剤、及び新たに現像される現像剤の誘電率と、
新たに現像される現像剤の充電効率を用いて、
前記露光条件を計算することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記露光条件とは、
露光を行う際の露光量であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像形成装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

上記目的を達成するために本発明にあつては、感光体と、前記感光体の表面を一様に帯電する帯電手段と、前記帯電手段によって帯電された前記感光体の表面を露光して、前記感光体の表面に静電潜像を形成する露光手段と、前記静電潜像に対して現像剤を供給して前記静電潜像を現像する複数の現像手段と、を有し、前記帯電手段、前記露光手段、前記現像手段によって、帯電、露光、現像を繰り返すことによって、前記感光体上に複数の現像剤像を重ねて現像する画像形成装置において、前記感光体上に形成された測定用画像の表面電位を検知する表面電位検知手段と、前記測定用画像に供給された現像剤の現像量を検知する現像量検知手段と、前記表面電位検知手段と前記現像量検知手段による検知結果に基づいて、前記露光手段の露光条件を決定する計算手段と、前記計算手段によって決定された露光条件に基づいて露光を制御する露光制御手段と、を有し、前記感光体の表面に現像された現像済みの現像剤の上に重ねて、新たに現像剤を現像する際は、現像済みの現像剤で形成された測定用画像と、新たに現像される現像剤で形成された測定用画像の、前記表面電位検知手段、及び前記現像量検知手段による検知結果に基づいて、前記計算手段が計算することによって露光条件を決定し、決定された露光条件に基づいて前記露光制御手段が露光を制御することを特徴とする。